

安全対策の効率化

カケル

AI安全帯不使用者検知システム「KAKERU」

画像認識AI(人工知能)技術でフック不使用者を自動検知



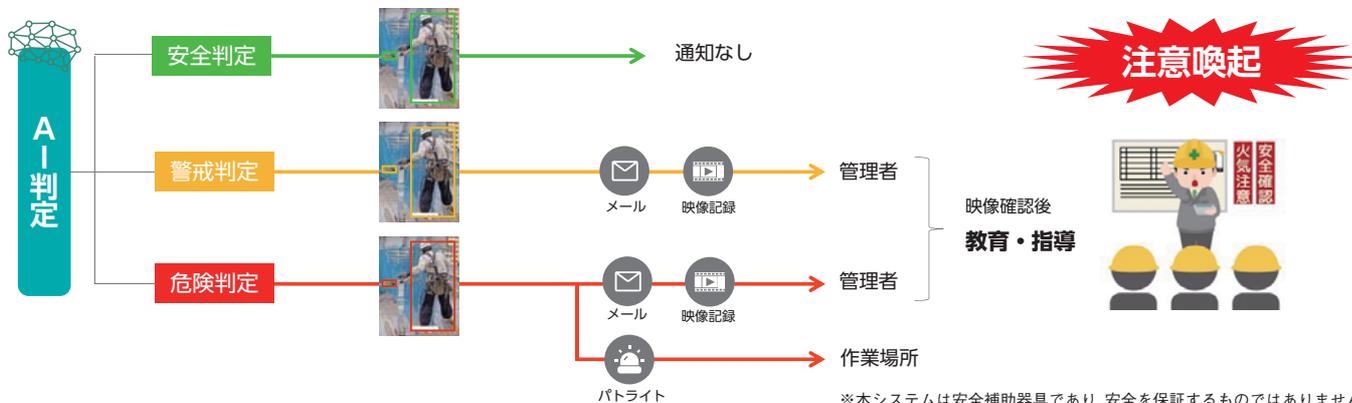
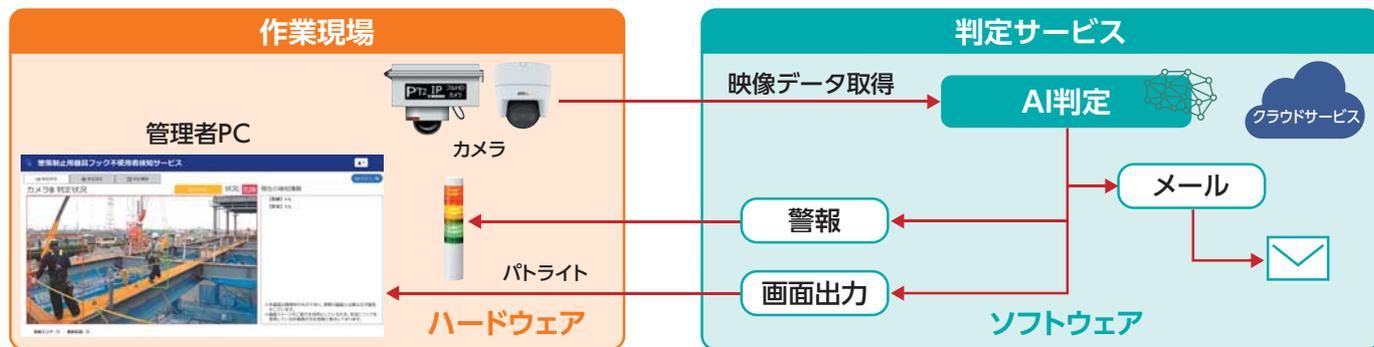
特徴

- ① 墜落転落災害に繋がる **危険行動抑止!**
- ② **監督作業の省力化** を実現!
- ③ 作業員の **安全意識向上・再発防止!**

仕様

対象現場	初期バージョンでは、鉄骨上における作業(親網を設置している現場)
画角および距離	作業者の接地面からカメラ設置までの高さ:約2m(斜め下に向けて撮影) カメラの設置位置から検知対象までの距離:15mまでを推奨(20mの検証実績あり)
明るさ	屋外の順光、もしくはそれに近い環境光であること
作業条件	対象の作業員にある一定の動作があること
作業員の装備	墜落制止用器具フックにオレンジ色の蛍光テープが貼られていること
判定条件	3フレームによる判定を実施 (AI監視時間:3秒程度※デフォルト値、導入時に決定)

判定状況・システム構成イメージ



※本システムは安全補助器具であり、安全を保証するものではありません。
※本システムは日立ソリューションズが開発したサービスを利用しております。